



学校だより

No. 4 さいたま市立神田小学校

令和5年 7月 3日発行 Tel. (853) 4377
URL: <http://jinde-e.saitama-city.ed.jp/>

学校教育目標

○人間性豊かで 21世紀を
たくましく生きる神田の子
・かしこく・たくましく・あたたかく

道を探し 選ぶ力

校長 米玉利 優子

「神田小学校6年生の男の子に助けてもらったのです。どうしてもお礼が言いたくて…」八王子公園の近くで自転車ごと転倒し、ケガをして立ち上がれなくなっていたところに、本校の6年生が駆け寄り声をかけ、持っていたタオルを渡し、これで冷やしてくださいと近くの自動販売機で冷たいペットボトルを買って来てくれたと言うのです。救急搬送されたそうですが、幸い大事には至らなかったとのことでした。何より、子どもたちの行動が嬉しかったと声を震わせて話してくださいました。「知らない顔をして素通りしていく大人がたくさんいたのだけど、起き上がれないし、ケガをしてそうだったから、声をかけてみようと言って走って行きました。」照れくさそうに話してくれた3人。誇らしいという言葉がこれほどまでに当てはまることはないと感じました。「考動」をした子どもたちと素晴らしい判断力をもつ優しく強い子を育ててくださった保護者の方に心から感謝申し上げます。神田小学校の誇りである3人へ、改めてお礼を伝えます。あなた達はとてまっかっこいい！本当にありがとう。

「学校中のトイレのサンダルをそろえているのですが、なかなかきれいにならなくて…」相談に来てくれたのは4年生です。履き物がそろろうと心もそろろうという詩を読み考えたそうです。「どうしたら皆の心が変わるかな。」と声をかけると「ポスターをかいてみよう。」「放送で皆に呼びかけてみよう。」という意見にまとまり、現在実行中です。まだまだ、神田小学校全員の気持ちが一つにならず、いつもきれいにサンダルがそろっている訳ではありませんが、4年生の子どもたちの想いが、全校児童に広がるように私も協力したいと思います。4年生の皆さん、ありがとう。いつか、きっと…。

倒れている人に声をかける、かけない。トイレのサンダルをそろえる、そろえない。嫌いなものでも少し食べる、食べない。小さなことですが、私たちの生活は常に「選択」にあふれています。この「選択する力」は、どのように育成されるのかなと長く考えていましたが、6月のこの2つの出来事が教えてくれました。この子どもたちは、人を想う心を持ち、どんな人になりたいかという心の根がしっかりと育っているのだと。これから先も、私たちは常に自分の歩む道を選び生きていきます。でも、どの道を選ぶことがより良いのかは誰にもわかりません。だからこそ、色々な体験をして人と語り合い、様々なことに挑戦し考える…心が震えるような経験をたくさんすることが大切なのではないのでしょうか。どんな人になりたいのかという心の根は、自分の道を探し、道を選ぶ力になるのだと確信しました。

もうすぐ夏休みです。この夏休みには、自分より人生経験豊かな人、年上の先輩、おじいちゃんやおばあちゃんと話してみませんか。本の中にも自分を磨いてくれる言葉や様々な体験ができるチャンスがあります。原爆の日、終戦記念日、お盆やお祭り…日本人として忘れてはならないものがたくさんある心の根を育てる時です。8月29日、心身共に大きく成長した子どもたちに会えることを楽しみにしています。私も本を読み、様々な経験をして、道を探し、選ぶ力を磨く夏休みにしたいと思います。

保護者の皆様、並びに地域の皆様、1学期も大変お世話になりました。2学期もどの道を選べばよいかと考えながら歩む子どもの背を見守り続ける…あたたかい御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。暑い日が続きます。くれぐれもご自愛ください。